



支え合うために

清明学園中学校 二年 舞嶋 美音

一年前、私の知り合いが事故に遭い救急車を呼ぶ事になった。でもその人はお金を持っていなかった為、救急車に乗るのを躊躇ったそうだ。それでも安心して救急車に乗り、病院へ行く事ができたのは税金のおかげであるというのも日本では無料で乗る事が出来る救急車だが、海外ではほとんどの国で料金がかかる。聞いた話によると、日本から海外に移住したある人は救急車の料金が高い為、呼ばないで済むように日頃から体調に気を遣い、日本にいる時よりも健康的になったそうだ。その話を聞くとあえてその方針もいような気がするが、お金が発生する事を気にして救急車を呼ぶずにもしもの事があれば、と思うとやっぱり怖くなる。そういう事を考えると日本の税金は誰かを救っている。

そして私たち学生が一人一人しっかりと学習が出来るのも税金のおかげである。教材や机や椅子。本当に沢山の物に税金が使われている事を知った時はとても驚いた。そうやって小さい頃に自分が経験した有難みを大人になった時に恩返しできる、人として大事にしなければいけない助け合いの精神をしっかりと形にしたものが税金なのだと思う。税金のおかげで苦しんでいる人が減り、負担を減らす手助けができると思うと税

金を納めることは負担にはならないはずだ。特に消費税は払いたくなくなったら買わなければいいから平等で、不満も募る事の無いとてもいい方法だと思う。消費税は私も払っている馴染みの深い税だ。まだ私が消費税を理解していなかった時、なぜ定価と税込で価格が違うのか疑問だった。でも決してその税はただお金を多く取るのではなく、自分を含め沢山の人の為に使われている事を知った今では、とても大切な事だと理解している。

税金を納め、誰かを支える側とそのおかげで支えられている側。私も将来、支える側になる。その時は誰かの為になっている事を思っ頑張ってほしい。私が今こうやって毎日を楽しく過ごしているのは支えてくれる人がいるからである。その支えてくれる人は家族や友人だけではない。税金は日本の国民を日々支えてくれている。もし、税金が無かったしたら道路などの整備ができず、犯罪などを取り締まる警察官がいなくなり、子供たちが安心して学べる環境も確保できなくなってしまうなど、他にも沢山の事が不便になる。税金の大切さを改めて考えて生活したい。そして私のように税金の大切さを知り、税金についてもっと学びたいと思える人が増えることを願っている。